

宮廷画家ゴヤは見た (2006)

GOYA'S GHOSTS

メディア 映画

ジャンル ドラマ 歴史劇

製作国 アメリカ/スペイン

色彩 Color

時間 114分

初公開日 2008/10/04

公開情報 ゴー・シネマ

【キャッチコピー】

それは、立ち入り禁止の、愛。

【解説】

「アマデウス」「カッコーの巣の上で」の巨匠ミロス・フォアマン監督が、スペインの天才画家ゴヤが活躍した激動の時代を背景に、非寛容・非人間的な異端審問がもたらした一つの悲劇を描いた歴史ドラマ。純真無垢な少女イネスと威厳に満ちた神父ロレンソが辿る数奇な運命を、2人の肖像画を手掛けるゴヤの目を通して繊細かつ重厚に描く。主演は「ノーカントリー」のハビエル・バルデムと「クローサー」のナタリー・ポートマン。「奇跡の海」のステラン・スカルスガルドがゴヤを演じる。

時は18世紀末、スペイン国王カルロス4世の宮廷画家に任命されたフランシスコ・デ・ゴヤ。画家として最高の地位に登り詰めながらも、常に現実の社会と向き合い、人間の真実を見つめ続けた画家。1792年、ゴヤは2枚の肖像画に取り掛かっていた。1枚は裕福な商人の娘で天使のように純真な魅力にあふれた少女イネス。もう1枚は威厳に満ちたロレンソ神父。そんな中、カトリック教会では、ロレンソの提案で、形骸化していた異端審問の強化が図られていた。そしてある日、イネスは居酒屋で豚肉を嫌ったことからユダヤ教徒の疑いありとして審問所への出頭を命じられてしまう。

【クレジット】

監督	ミロス・フォアマン	Milos Forman	
製作	ソウル・ゼインツ	Saul Zaentz	
製作総指揮	ポール・ゼインツ	Paul Zaentz	
脚本	ミロス・フォアマン	Milos Forman	
	ジャン＝クロード・カリエール	Jean-Claude Carrière	
撮影	ハビエル・アギーレサロベ	Javier Aguirresarobe	
プロダクションデザイン	パトリツィア・フォン・ブランデンスタイン	Patrizia von Brandenstein	
衣装デザイン	イヴォンヌ・ブレイク	Yvonne Blake	
編集	アダム・ブーム	Adam Boome	
音楽	ヴァルハン・バウアー	Varhan Bauer	
出演	ハビエル・バルデム	Javier Bardem	ロレンソ神父
	ナタリー・ポートマン	Natalie Portman	イネス・ビルバトゥア/アシリア
	ステラン・スカルスガルド	Stellan Skarsgard	フランシスコ・デ・ゴヤ
	ランディ・クエイド	Randy Quaid	国王カルロス4世
	マイケル・ロンズデール	Michael Lonsdale	異端審問所長

ホセ・ルイス・ゴメス

Jose Luis Gomez

トマス・ビルバトゥ
ア

マベル・リベラ

Mabel Rivera

マリア・イザベル・
ビルバトゥア

ブランカ・ポルティージョ

Blanca Portillo

ウナクス・ウガルデ

Unax Ugalde

フェルナンド・ティエルブ

Fernando Tielve

デヴィッド・コールドー

David Calder